

明石寛治（あかし かんじ）

（株）明石合銅代表取締役社長



昭和22年 金沢市生まれ
昭和44年 芝浦工業大学卒業
同 年 （株）明石鑄造所入社
同 年 早稲田大学鑄物研究所 受託研究員として派遣
平成16年 （株）明石合銅 代表取締役社長就任現在に至る

〔沿革／株式会社明石合銅〕

昭和21年 3月 初代明石米吉が金沢市内に明石鑄造所を創設
昭和25年 10月 金沢市長田本町ホ63に工場を新設移転
昭和29年 1月 資本金100万円にて株式会社明石鑄造所を設立
昭和34年 12月 明石米吉死去に伴い明石初子が社長就任
昭和36年 1月 金沢市長田本町ホ74に工場を新設移転
昭和50年 6月 バイメタル製品の製造を開始
昭和52年 3月 現在地へ工場を移転し、移転と同時に社名を株式会社明石合銅と変更
昭和60年 10月 明石巖が社長に、明石初子が会長に就任
平成 5年 6月 スイスのジュネーブにヨーロッパ事務所開設
平成 7年 10月 JIT生産方式導入
平成 9年 10月 ISO9002認証取得
平成13年 2月 ISO14001認証取得
平成15年 11月 ISO9001 2000年度版認証取得
平成15年 11月 粉末焼結含油軸受生産開始
平成16年 6月 明石寛治が社長に、明石巖が会長に就任
平成18年 3月 元気なモノ作り中小企業300社に選定
平成21年 11月 三相誘導モータ用純銅ロータの生産に着手
平成23年 5月 日本銅センター賞受賞

〔同社HPより： <http://www.akashigo.com/>〕

出 島 二 郎 （でじま じろう）

プロデューサー（出島二郎事務所主宰）
金沢工業大学非常勤研究員
（財）何必館・京都現代美術館理事



昭和19年朝鮮生まれ。「フードピア金沢」（石川県・金沢市）、「能登国際テント村」（七尾市）、「北近江秀吉博覧会」（長浜市）、「湖国二十一世紀記念事業」（滋賀県）、「江・浅井三姉妹博覧会」（長浜市）などに参画。金沢、七尾、長浜などで家業の勉強会を開催、また加賀市のアドバイザーを務めるなど、まちづくりと地域企業のマーケティング戦略に取り組む。研究テーマは「家業の継承と再生」である。

〔著書〕

- 『鶴見和子の世界』（共著・藤原書店）
- 『祭りとイベント』（共著・小学館）
- 『長浜物語——町衆と黒壁の十五年』（NPO法人まちづくり役場）
- 『地域の遺伝子をみがく』（共著・蒼天社出版）
- 『金沢工業大学職員録二〇〇九』（金沢工業大学）
- 『泉屋利吉の教育思想』（金沢工大学園同窓会 こぶし会）
- 『その後の長浜 2003～20012』（NPO法人まちづくり役場） など

藻 谷 浩 介 （もたに こうすけ）

(株)日本総合研究所調査部主席研究員

(株)日本政策投資銀行地域振興グループ特任顧問



昭和39年 山口県生まれ

昭和63年 東京大学法学部卒業

日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行

平成6年 米国NY市コロンビア大学経営大学院

(ビジネススクール)卒業

(経営学修士=MBA)

(財)日本経済研究所調査局 研究員

平成11年 日本政策投資銀行 地域企画部 調査役

平成14年 NPO法人ComPus地域経営支援ネットワーク理事

平成15年 日本政策投資銀行 地域企画部 参事役

平成18年 NPO法人ComPus地域経営支援ネットワーク理事長

平成19年 日本政策投資銀行 地域振興部 参事役

平成24年 日本総合研究所調査部主席研究員

山口県生まれの47歳。平成合併前3,200市町村の99.9%、海外59ヶ国を概ね私費で訪問し、地域特性や郷土史を詳細に把握。まちづくり、観光振興、産業振興、人口成熟問題などの諸分野で、全国で年間400回以上の登壇をこなす。政府関係の公職多数。

〔著書〕

『実測！ニッポンの地域力』（日本経済新聞出版社）

『デフレの正体——経済は「人口の波」で動く』（2010年・角川書店） など